

山梨県若者海外留学体験人材育成事業（高校生コース）
留学結果報告書

令和 7 年 7 月 10 日

山梨県知事殿

本人氏名 本間 千然

次のとおり留学の成果を報告します。

留学先国名	アメリカ合衆国
学校等名	New Hanover High School
留学期間	令和 6 年 8 月 1 日～令和 7 年 6 月 16 日

私は 2024 年 8 月から、2025 年の 6 月まで、アメリカのノースカロライナ州に一年間留学をした。現地では、今まで出会ったことのない、人・価値観・環境・文化に多く出会った。戸惑いや苦しさはあったが、その「新たな出会い」に学び、考え、魅了された。また、テレビやネットでしか知りえなかった「世界情勢」を身近に感じた。

私のホストマムはウクライナにルーツがあり、その縁でウクライナ独立記念日パーティーに参加し、初めてロシアとの紛争から逃れてきた方と直接はなしをした。悲惨な状況でも希望をもち、前を向いる人が多くいることを実感した。直に接し、話し、握手し、ハグし、伝統料理を食べ、音楽を聴き、踊り、時間を共にした。

私たちは多くの情報を簡単に得て、それだけですべてをわかった気になってしまいがちだが、目・鼻・耳・舌・触の五感を使ってこそ、初めて「リアル」を知ることが出来る。「簡単に繋がれる」時代だからこそ、直に接することが一層重要であり、また今回、沢山の素敵なお話を聞いて、戦争が奪ったものの大きさ、愚かさを強く感じた。

現地校では米国史・経済学・フランス語・演劇・子供の発達など、日本では履修出来ない授業を選択した。特に米国史の授業での先生や他の生徒とのやり取りが印象的だった。第二次世界大戦を学んだ際、広島・長崎への原爆投下に賛成している生徒が多くいること、日本への批判が想像以上に強いことを知った。環境・経験・人生観によって、捉え方が全く異なることを目の当たりにした。

2019 年、今から 6 年前、中学一年生で一ヶ月ホームステイをした際、「価値観の違い」に気づき、今回の留学では、それらに関するアンケート/研究を実施した。

本研究では、11 の指標（家族・友人・健康・平和・環境・時間・教育・芸術・お金・学歴・宗教）を設け、何を重要とするかを、ランキング付けしてもらう内容のもので、そのデータを国籍・年齢・性別（任意）ごとに分析し、価値観の傾向を見た。26 か国、国内外合わせて合計 529 人分のデータを収集した。このアンケートはデータ収集という

「目的」であると同時に、多くの価値観に接する「手段」でもあった。アンケートをきっかけに一人ひとりとディスカッションをし、その意見交換が相互理解となり、相違点・共通点を認識し、このアンケートに携わった方と関係を築けたと実感している。思いもよらないアンケート結果に出会えた時は、新たな価値観との出会いにわくわくした。

他にも、「自分を伝え、相手を知る場」として、現地の小中学校で、日本の文化・伝統・山梨の魅力・なぜ留学したか、などのプレゼンテーションや体験型のワークショップのボランティアを行った。多くの生徒がプレゼンテーションに耳を傾け、何度も質問し、日本文化の体験を楽しんだ。ボランティア前は多くの生徒・教員が、日本を「静かな国」とと思っていたとのことだが、「ユニークな文化や人もいることを知った」、「日本に行ってみたい」と、言ってもらえた。また「他国・多文化を知ることって面白い!!」と言ってくれた小学生もいた。

私は現地のである式典に参加し、ウィルミントン市の代表として、アメリカ国歌を独唱した。その式典は、第二次世界大戦の真珠湾で仲間を守るために、自らを犠牲にし、日本の攻撃で亡くなった兵士をたたえ、追悼するものだった。私は日本人として、その式典に参列すること、アメリカ国歌を歌うことに気後れしていた。かつて、この式典で日本人がアメリカ国歌を歌ったことはない。今まで経験したことのない緊張に胸が痛くなつた。しかし式典を運営する年配男性が、「この方は日本の攻撃により命を落とした。でも、これは単にどちらの国が悪い、という話ではない。私たちはその悲惨さを知り、伝え、同じ過ちを繰り返さないために、国家間で平和を築き続ける必要がある。今日は君がアメリカの国歌を歌ってくれて嬉しいよ。今、君はその懸け橋になっているかもしれないね」と言ってくれた。その言葉に、はっとし、安心し、涙が出そうになった。

私は、幼少期から「世界平和」のために何かできることはないかと考えてきた。ある日、幼いながらに考えたことがある、隣の人と仲良くする、そして隣の人とも、次の隣の人と仲良くする、その輪が広がり、やがて国境を越えれば、「大きな仲良し」つまり「世界平和」になるのではないかと。出国前、私は「自分の名前を覚えてもらわなくとも、日本人にあんな元気で面白い人がいたな」と思ってもらえる出会いを一つでも多く重ねたいと考えていた。少しでも実現できていたらうれしい。

この留学で私は、多くの方と出会い、国境を越えた「仲良し」を築いた。紛争から逃れてきたウクライナの方々、初めて異文化理解の楽しさを知った小学生、第二次世界大戦について共に語り合ったクラスメイト、式典で会った年配男性など。国籍・年齢・性別・境遇・宗教などを越えて、人は仲良く出来ることを実体験した。これこそが、「人ととの交流」であり、「世界平和」への小さくても、大きな一歩だと確信している。

これまでに出会ったすべての方に感謝を表し、この留学で得た学びが「仲良し」を広げ、国内外を問わず、より多くの方と共に「世界平和」を築けるよう、今後も直に接し、沢山話し、理解し合うことを大切にしていきたい。

日本文化のプレゼン



家族とのクリスマス



ミュージカル本番！



幼児発達の授業



アメリカ国歌を市の代表として独唱



小学校でのボランティア

(別紙様式 5)



合唱のコンサート



フランス語の授業中に私の誕生日パーティー！



校内ドラマに出演



ワシントンD.Cの
リンカーン記念碑



卒業式！

